

【オリコンサルグローバル インドネシアの大学 国際シンポで講演】

インドネシアの大学
国際シンポで講演

オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは21日、インドネシア・ハサヌディン大学工学部で開かれた国際シンポジウムに参加した。写真。同大工学部とACKグループが共催し、JICA（国際協力機構）などが後援した。

同社は、エコキャンパスを



コンセプトとした同大工学部整備事業（円借款）で、プロジェクトマネジメントコンサルタントとして、計画立案から詳細設計、施工監理、機材調達支援までを行っている。また、ACKグループ重点化事業として、大学校舎にスマートメーターや小規模簡易太陽光発電システムを導入することで、エネルギー消費量の見える化と、エネルギー管理システムの効率化を図るスマート化事業を提案し、ファシリテイマネジメントに取り組んでいる。

シンポジウムは「Eco-friendly & Smart Campus」と題して、プロジェクトによる効果に加えて、SDGs（持続可能な開発目標）と「仙台防災枠組2015-2030」を踏まえた周辺インフラせい弱地域の環境、文化、防災面での公共施設の役割を講演した。

成田吉弘北大名誉教授（現JICA専門家）、島谷幸宏九大教授（環境社会部門水圏持続学講座）も講演し、公共事業省、地方防災局、地方開発企画庁、地方水道公社などの同国関係者や同大学生など、100人以上が参加し

た。

また、同日、ACKグループと同大工学部は、「環境にやさしいスマートキャンパス」の実現に向けて、同大工学部構内で、小水力発電・地中熱発電などを利用した分散型再生可能エネルギーネットワークシステムの構築、地下雨水貯蔵タンクを利用した再生水利用システムの構築の共同実証について、MOA（合意書）を交わした。